

【はじめに】

私は観光学部にも所属して、観光産業の経営や観光地計画といった産業的側面や、文化・社会的側面から観光現象を学んでいます。学んできた 観光 が実際に地域社会とどのように関わり、地域を元気にし得るのか、自らが生活をし、多くの方から意見を伺う中で考えてみたいと思い、今回インターンシップに参加しました。

由岐地区

由岐で過ごして印象

私は八月七日から二十一日までの約二週間、主に由岐地区でお世話になりました。東由岐漁協・ぼっぼレストラン・うみがめ博物館カレッタでの業務体験や、また、料理教室やふるさと由岐まつりなどのイベント

【活動報告】

にも参加させていただきました。期間中は川西さん宅にお世話になったり、「漁火の家」で自炊生活をしたりと普段できないような貴重な経験をさせていただき、あつという間の二週間でした。



的だったのは、人と人の距離が近く、とても親切なことでした。地域の方自身もそれを魅力と捉えていましたし、私はなにより、みなさんが自分の住むまちの自慢や魅力を即答できることがすごいと感じていました。

そして同時に、活動を通して、若者の減少といった地方に共通する課題から、地震や津波などの災害といった由岐ならではの課題まで、地域の抱える課題を知りました。私が今回出会った方は、地域を良くしようという外からやってきた井若さんのような方やその刺激を受けている住民の方など地域に積極的に関わる方ばかりでしたが、それはあくまで一部であるという印象があります。

課題を解決し、元気なまちにしていくには住民同士の結びつきの強さを発揮し、地域全体でビジョンを共有していく必要性を感じました。

た。



美波町全体

主に由岐地区で活動して

いました。休日には日和佐地区に出かけたり、木岐地区を訪れてみる中で、美波町は地区ごとに色があり、異なる雰囲気を持っているなという印象を持ちました。観光においても旧所・名跡があり、自然を生かした体験型観光がありと一つの町の中で様々な形の観光ができるのは珍しく、魅力的なことだと思えます。ですから、旧地区単位ではなく美

波町全体としてアピールすれば、より多くの人の興味を引く町になるのではないかと考えています。

【最後に】

お世話になったみなさん、本当にありがとうございました。充実した毎日を通じたことができたのも、快く受け入れてくださったみなさんのおかげです。

このご縁を大切に、また必ず美波町を訪れたいと思っていますので、これからもよろしく願います。

